



国民春闘共闘

第15号

2018年3月12日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

日本医労連統一行動

月額平均4万円以上・時間給250円以上 大幅賃上げを勝ち取ろう！

18春闘日本医労連統一行動の日程は、要求提出は2月28日まで、回答指定日は3月14日、翌日15日が全国統一行動日です。3月6～7日に、2018年春・夜勤改善・大幅増員の実現、社会保障の改悪阻止！「3.6～3.7 対政府中央行動」を行ない275人が参加しました。自治労連、全大教と3単産共闘として取り組んだ国会議員要請には約300人が参加し、賛同・紹介議員が107名になりました。（医労連ニュースより抜粋）



看護交渉団は、確保法基本指針が示す月8日以内夜勤が守られておらず、月13回も夜勤に入っている実態や、インターバル1～2時間程度で夜勤に入らざるをえない状況を突き付けました。

医政局担当者は「試算からみても看護師が不足しているのは事実」と認めたとうえで、需給分科会での議論として①新規養成、②離職防止、③復職支援の3つを看護職員確保対策としておこなっていると述べました。

労働関係交渉は、今国会で成立が狙われている「働き方改革関連法案」撤回、長時間労働解消と「特別条項」撤廃、夜勤・交替制労働の法的規制強化、「無期転換ルール」の徹底などを求めて厚生労働省を迫り、不当な雇止めを起こさせないために、制度と制度の趣旨を徹底することを求めました。労働基準監督署が特別条項付き36協定の締結を促している問題では、「医師の時間を増やせ」「99時間で結ばばいい」などと言われている実態を突きつけ、「本末転倒の指導が実際にある」と迫りました。

要求実現に向け経営者要請・全国で奮闘

愛知の民医連労組部会では、民医連5 法人すべてに要請を行ないました。2月16日朝9時からスタートし、終日行動となりました。「統一回答指定日にベアで応え、誠実な回答を」「3000 万人署名の協同」など訴え、日本医労連統一要請書も提出しました。要求提出団交も活発におこなわれています。愛知・名南会では2月16日に団交、参加した組合員は「健康もお金もやる気も大事」と賃上げと職場改善を訴えました。仕事に誇りを持っているからこそ、改善を訴えます。



退勤・春闘アンケート調査で職場の実態が見えてきた！

国共病院広島記念支部では、退勤・春闘アンケート調査を実施しました。昨年12月20日に広島県医労連、市民病院の仲間の支援を受けて調査に取り組み、今回の退勤調査結果（36名回答）は、「時間外無し」が13名で、「60～120分」4名、「時間外全て請求」11名、「一部」14名、「していない」は10名でした。ほとんどの人が、残業未払いは「違法」と知っており（28名）、始業前時間外労働を請求している人は8名でした。



春闘要求アンケートは、返納封筒ともに配布し投函をお願いした結果、「年休が取れない」、「時間で帰れない」の切実な声が組合に届きました。「年休はあげられない」と発言があったことも明らかになりました。このことを機に、組合では、早速、交渉を実施。その結果、何の相談もなく1月から2人夜勤にしたことについての謝罪、年休を「あげられない」と発した言葉については、中間職制への周知徹底をすとし、「人員が足りないということは管理者の責任、人材・人員確保に努力していく」と回答させています。年休消化についても、年休消化率に関する取得調査率・公表も「検討する」という回答を得ています。

**安倍9条改憲・労働法制改悪NO！
賃上げと安定雇用で地域活性化！**